

二学期

新型コロナウイルス感染防止のための老上小ガイドライン 2020.8月

(学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル 2020.8.6Ver3 文部科学省)を基にしています)

1. 基本的な感染防止対策

(子どもへの指導)……………【体調のすぐれないときは、家で休む】

- ① 校舎内でのマスクの着用
- ② 手洗い(登校した時、長休み後、給食前後、昼休み後、トイレの後、下校前、および体育等の後)
(共有の物を使った後…タブレット、図書室・絵本室・共用楽器・工作道具など)
- ③ 他の人との距離をとること(基本は2m、最低1m)

(環境整備)

- ① 換気対策 冷房中も最低限、対角線に2か所は窓を開ける(廊下の窓は極力開けておく)
- ② 密集・密接になる活動をさけ、子どもたちにも距離をとるよう適宜指導する
- ③ 下校後の消毒作業(ドアや階段の手すり、水道の蛇口や電気のスイッチ等多くの人が触れる場所)

2. 熱中症予防対策とマスク

- ① 登下校時は、人との距離をとることを前提にマスクを外す
- ② 教室内でも、人との会話のない時は適宜マスクを外す声掛け(テストの時など)
- ③ 帽子着用、水分補給の声掛け

3. 休み時間、掃除、給食について

- ① 朝の休み時間は、当面1学期同様にグラウンド使用はしない
- ② 当面の間、密集を避けるため、外遊びは1学期と同様に半分の学年が使うようにする
(外遊びは人との距離をとることを前提にマスクは外させる。暑さ指数により使用不可の場合有り)
- ③ 掃除は、通常の清掃活動とする
- ④ 給食についても1学期同様に当番の子どもの健康観察および向き合わない会食

4. 学習指導について

- ① 体育について、マスクを外して行う。他の人と近い距離で触れ合う活動はさける。
- ② 警戒レベルに合わせた指導
調理実習…不可 歌唱・楽器演奏等…全員で一斉にしないなどの工夫
理科実験…密接をさけた場の工夫
- ③ 教科間の関係を意識したカリキュラムマネジメントによる指導の工夫

5. その他

- ① コロナ感染への偏見をなくす指導を随時行う
- ② 児童・教職員が感染もしくは濃厚接触者になった場合は教育委員会等と連携する
- ③ 来客には、マスク着用、手指消毒、検温と氏名の記入を徹底する